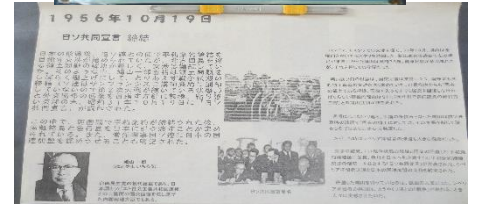




今日は何の日？

学年の廊下掲示物として、写真の「今日は何の日」を掲示しています。社会科に関する「ネタ」を中心に毎日更新中です。ちなみに本日19日は、「1956年10月19日 日ソ共同宣言 締結」です。

今日は何の日？



さて、進路学習会で繰り返し、「10月19日以降！」と説明したことを覚えているでしょうか？本日19日は『令和6年度公立高校 本検査入学者選抜における選抜・評価方法』の公表日です。第1回進路学習会資料P20に、市立松戸高校の昨年度の選抜評価方法を掲載しましたが、以下に本日発表されたばかりの同校の選抜・評価方法を掲載します。比較してみてください。今日以降、順次公開することになっていますので、必ず希望校のものをHP等で確認してください。21日（土）以降に開催される学校説明会では、最新の情報が公表されますので、今後開催される説明会には必ず足を運びたいものです。夏の説明より具体的なことを教えてくれるはずですよ。

令和6年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市5
松戸市立松戸高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

- 人物、学業ともに優れており、次のア又はイのいずれかに該当する生徒
- ア 特別活動等や資格取得に実績を有し、目標や志を持って、意欲的に高校生活を送れること。
- イ スポーツ、芸術活動等に意欲的に取り組み、本校入学後も積極的に活動を継続し、学習との両立を図りながらさらに技能を向上させる意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（自己表現）	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 男子のみの種目：野球・ラグビー・ハンドボール 女子のみの種目：ソフトボール 男女の種目：サッカー・陸上競技・硬式テニス・弓道・柔道・剣道 バレーボール・バスケットボール・ バドミントン・卓球・吹奏楽・合唱 検査時間：5分～50分（種目により異なる） イ 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 与えられたテーマについて、口頭（日本語）による自己表現を行う。 検査室への道具の持ち込みは一切認めない。 検査時間：2分以内

陸上競技【短・跳・投】・陸上競技【長距離】から陸上競技と変更。表記が具体的でなくなった。

これまでの作文から口頭スピーチへ変更

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査【500点満点】

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書【170点満点】

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が1個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。「特記事項」に英語検定、漢字検定、数学検定各3級以上の記述があった場合は加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判断する際の参考とする。

役員、選抜選手、大会実績等の記述があった場合加点から変更。表記が具体的でなくなった。

昨年度120点満点から
40点満点と大幅配点減へ

(3) 学校設定検査（自己表現）〔40点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。

ア 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 当該種目の技能を向上させようとする意志がある。
(イ) 表現内容	当該種目における基礎的及び専門的スキルを身に付けている。

イ 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 入学後の生活に対する目標や意識が明確であり、意欲的に高校生活を送る意志がある。
(イ) 表現内容	発表内容がテーマに即しており、まとまりや説得力がある。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

4 選抜方法

(1) 市内中学生優先入学制度

令和6年度松戸市立松戸高等学校第1年次入学者選抜要項において、「普通科においては募集定員の一部分について、志願者及び保護者が松戸市内に居住し、松戸市立中学校を令和6年3月卒業見込みの者を優先とする。」としている。そのため、市内中学生を、普通科募集定員全体の40%程度まで確保するようにしている。

(2) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

- (ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の60パーセント
 - (イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の60パーセント
- <ア：総得点の満点の内訳>

昨年度790点満点から
710点満点と80点減へ

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	35点	40点	710点

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数（k1=1、k2=1、k3=5、k4=1）を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
(k4=1)	評定(k1=1)	加点(k2=1)	自己表現(k3=5)	
500点	135点	35点	200点	870点

- ※ k1：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数
- ※ k2：アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数
- ※ k3：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数
- ※ k4：アの「学力検査の得点」に乗じる係数

今年度より、新たに「2段階選抜」が実施されることになった！！

アの方法で60%の合格者を確定した後、残り40%の定員を イの2段階選抜で決定する。この選抜方法では、2日目の自己表現（実技 or スピーチ）の割合が23%（アなら5.6%）となるので、2日目の結果次第で、合格者の入れ替わりもあり得る。（実技有利？）

- ⑧ 2日目に「実技」で受検したいと考えている人は「種目の有無」を必ず確認してください。
- ⑧ 「実技」で受検する場合、高校入学後もその種目を部活動で続けることが前提なので、実技にするかスピーチにするかをよく考えて決めてください。